

2017年 7月 5日

～急発進防止装置 販売開始から半年～

『ペダルの見張り番』 売上金の一部を交通遺児等育成基金へ寄付



ペダルの見張り番



(左) 公益財団法人交通遺児等育成基金 内田専務理事
(右) 当社社長執行役員 小林

株式会社オートボックスセブン（代表取締役 社長執行役員：小林喜夫巳）は、2016年12月から販売を開始している急発進防止装置『ペダルの見張り番』の売上金の一部100万円を、公益財団法人交通遺児等育成基金へ寄付し、役立てていただくこととしました。

ここがポイント！

- 『ペダルの見張り番』の売上金の一部を交通遺児等育成基金へ寄付しました。
- 軽自動車やコンパクトカーへの取付が多く見られます。
- 購入者の8割は65歳以上の高齢ドライバーです。

昨今、高齢者や運転に不慣れな方による、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる事故が相次いで発生しています。急発進防止装置『ペダルの見張り番』は、そのような事故を未然に防ぐため開発し、2016年12月5日（月）より販売を開始しました。

『ペダルの見張り番』は、10km/h未満で徐行時や停止している状態で、ブレーキペダルを踏もうとして誤ってアクセルペダルを強く踏み込んでしまった際、車両側の車速・ブレーキ信号を検知し、アクセル開度（アクセルペダルを踏み込んだ量）を電氣的に制御する『オーバーアクセルキャンセラー』により、誤発進を防止します。また、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだ際、『ブレーキオーバーライドシステム』が機能し、ブレーキ動作を優先します。後付け可能な急発進防止装置で、軽自動車からミニバンまで、国産車100車種以上に幅広く対応しています。

【『ペダルの見張り番』商品紹介サイト】

http://www.autobacs.com/static_html/spg/pedal_mihariban/top.html

このたび、本製品を通じて交通事故が撲滅されるようにという願いを込めて、売上金の中から100万円を、公益財団法人交通遺児等育成基金へ寄付しました。

～公益財団法人交通遺児等育成基金とは～

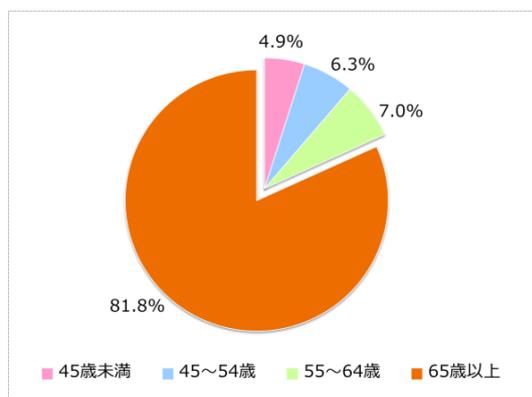
自動車事故によって親を失った交通遺児に対し、遺児育成資金の長期安定給付を目的として1980年に発足。満16歳未満の交通遺児が加入できる育成基金で、0歳から19歳になるまでの間、育成給付金を支給している。また、交通重度後遺障害を負われた方の子どもがいる家庭で、困窮している場合も支援給付をしている。

公益財団法人
交通遺児等育成基金

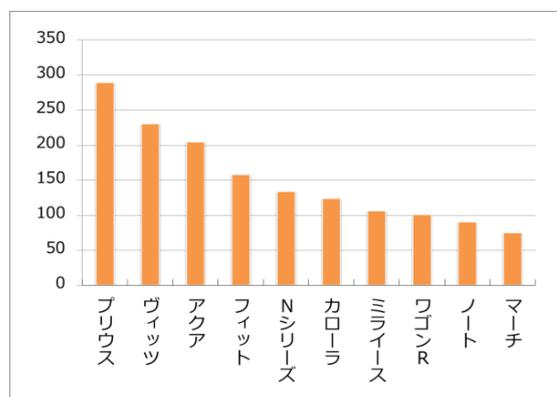


（次ページへ続きます。）

『ペダルの見張り番』は販売開始から半年が経過しました。ご購入者は、65歳以上が約8割と多く（グラフ1参照）、取付した車種の内訳（グラフ2参照）は、軽自動車やコンパクトカーへの取付が多く見られます。また、「親のクルマに装着したい」と親子でご来店されるケースも多くありました。



グラフ1：購入者の年齢構成



グラフ2：取付車種 上位10車種

今後も「常にお客様に最適なカーライフを提案し、豊かで健全な車社会の創造を使命とする」という当グループの経営理念に基づき、クルマのことなら何でもご相談いただける店舗を目指します。

以上

この件に関するお問い合わせ先

【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771
 受付時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 小野田（おのだ）、鈴木（すずき）
 〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲キャナルフロント
 TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762

※ 上記の画像等につきましては、ホームページよりダウンロードできます。URL: <http://www.autobacs.co.jp/ja/news/index.php>